

本ガイドラインのフローおよび各ステップにおいて実施する主な事項のイメージ

第1ステップ

PRE情報の整理
一元化

- 都市の現状把握 : 人口・財政状況、D I D地区の変遷等の整理
- PRE状況の把握 : 総量把握（保有PREの総量、将来維持更新コスト等の整理等）
面的把握（GISマップ等を用いたPRE配置状況の把握 等）
個別把握（建物基本情報、利用状況、費用対効果分析 等）
- 都市機能の現状整理 : 民間建物を含めた都市機能（医療、福祉、商業等）の立地状況把握

第2ステップ

まちづくりのマスター
プランの作成

- コンパクトシティ等の実現のための「まちのあり方」の整理
 - ・集約型都市構造実現に向け、まち全体を見渡して生活サービスの誘導を行う「都市機能誘導区域」や居住を誘導する「居住誘導区域」等の区域を設定
 - ・設定した各区域に必要なとされる生活サービス機能を現状を踏まえて具体的に設定

第3ステップ

PRE再配置の基本方針
の作成

- PRE再配置に向けた基本的な考え方の整理
 - 視点①まちづくりの視点
 - ・必要な都市機能（公共・民間）の整備に向けてのPRE活用の重要性の確認
 - 視点②行財政の視点
 - ・財政状況を考慮したPRE保有量の適正化目標の設定
 - ・建物状況や市民ニーズに基づく方向性の整理

第4ステップ

PRE再配置計画の作成

- PRE再配置の基本方針に基づく各PREの再配置計画の作成
 - ・PREごとに「維持」「建替」「複合化」「転用」「廃止」等の方向性および具体的なスケジュールを検討
- ※上記検討にあたっては、将来のまちのあり方を考慮し、必要な公共サービスの再配置や不足する民間都市機能の整備へのPRE活用等について検討

第5ステップ

個別事業の実施

- 具体的な事業計画の作成、事業の実施
 - ・民間との連携（PPP/PFI等）や、他自治体との連携等の可能性を検討し、具体的な事業計画を作成、事業を実施する。